

平成28年度一般社団法人日本らんちう協会主催  
第61回全国品評大会開催の大綱

1 行事等の名称

平成28年度一般社団法人日本らんちう協会主催第61回全国品評大会

2 主催団体名

一般社団法人日本らんちう協会

3 事務所所在地

東京都杉並区方南一丁目28番1号

一般社団法人日本らんちう協会

4 大会開催趣旨

らんちうの種族保存、質的向上を図り飼育の研究、観識の養成と日本伝統の金魚文化に貢献するとともに動物愛護精神の普及を図る為。

5 開催の具体的な理由

現在日本国内で広く鑑賞用に飼育されている金魚の原種は、寛延元年（1747年）頃、金魚として7種類位中国から渡来したものと古い文献、版画等で紹介されています。

また、「金魚の品種であるらんちうの歴史は古く、江戸時代後期頃から富裕層の好事の間で親しまれ、『らんちう』の姿で代表されるものは昭和初期に、東京の生産者や愛好者の限り無い美の追求の末、淘汰を重ねた結果現在の原型が出来たものです。爾来関係諸機関のご指導、生産者、愛好家等の手で種族保存されて参りました。

協会の前身は、昭和31年（1956年）に全国でらんちう飼育・普及伝承に努められた著名な方々のご尽力により立ち上げられた日本らんちう協会（任意団体）で、それまで各地でバラバラに開催されていた品評会を統一し全国大会を開催するに至った。

この後、平成23年（2011年）に、全国を東部本部・中部本部・西日本部に分割し、それまで各本部費用で持ち回り開催していた全国大会や増大した会員、運営資金を有する各本部を傘下とする協会（任意団体）を開かれた団体の在り方として公的に襟を正すという趣旨で社団法人化致しました。

然しながら、今日『らんちう』の飼育が、池から水槽にと変わり、飼育や金魚文化の継承の難しさを増す状態を憂いております。

協会としては、折角増えた会員の方々と金魚文化継承する為、且つ、法人化して充実し始めた協会を益々強固な組織にする為にも、文化庁後援名義使用をお認め頂き、全国各地より優秀銘魚を一堂に集め、潜在的な愛好者の眼に触れる機会を提供することにより『らんちう』の真髄『泳ぐ宝石』の魅力を十分味わって頂きたいと思っております。

また、会員の方々にはより多く飼育技術の情報を得る交流の場とし理想の魚創りといった永遠のテーマに挑戦する実践家を養成する為にも、この機会を生かし全国愛好層の拡大を目的と致します。

6 行事等の開催場所

① 開催日

平成28年11月3日（文化の日）

② 開催場所

東京都千代田区日比谷公園内榎の木広場

7 名義使用の種類

文化庁、東京都後援名義

8 名義使用の対象

① 平成28年度一般社団法人日本らんちう協会主催第61回全国品評大会  
開催実施要項

② 平成28年度一般社団法人日本らんちう協会主催第61回全国品評大会  
開催案内状、招待者案内状

9 主たる利用者

国内外の『らんちう』愛好者、協会会員等